

長距離のバスや電車での移動をなくし、往復国内線を利用することで移動の負担を軽減しました。
ブッダガヤへ3連泊のゆとりの日程で、旅行期間が長いと不安な方でも安心してご参加いただけます。

羽田発着

悟りの大地 インド仏跡探訪 6日間



高さ約55mの尖塔を持つ、世界遺産マハーボデー寺院



スジャータ村のストゥーパ



ブッダ説法の地ラージギル(霊鷲山)



世界遺産ナーランダ大学址



ダンゲシュワルの丘の寺院



悟りを開いた菩提樹の子孫



インド大仏

旅行日程表 (行程・宿泊地・ホテル・食事)	
1	羽田(11:50発) ✈ デリー(17:25着) ＝ご出発空港までスーツケース無料託送サービス＝ 午前、羽田空港よりエアインディアでデリーへ。着後、入国審査。 専用バスで空港近くのホテルへ。■夕食はホテルのレストランにて。 ☒ 機内食 ☒ 夕食 デリー: アショカ・カントリーまたはハイアットセントリック 泊
2	デリー(14:30発) ✈ ガヤ(16:05着) 🚗 ブッダガヤ 午前、デリー市内観光。世界遺産○フマユーン廟、世界遺産○クトゥ ブ・ミナールを見学。午後、航空機でガヤへ。着後、専用バスで成道 の地ブッダガヤへ。■夕食はホテルのレストランにて。 朝食 昼食 夕食 ブッダガヤ: スジャータまたはリージェンシー 泊
3	ブッダガヤ滞在 終日、ブッダガヤの観光。ブッダが悟りを開いた地・○世界遺産マハ ーボデー寺院(菩提樹)、村娘スジャータがブッダに乳粥供養をしたと いう●スジャータ村、○世界各国の寺院(日本、中国、タイ、ブータン など)を見学。■夕食はホテルのレストランにて。 朝食 昼食 夕食 ブッダガヤ: スジャータまたはリージェンシー 泊
4	ブッダガヤ滞在(ラージギル、ナーランダへの日帰り観光) 午前、専用バスでラージギルへ。釈尊が晩年を過ごした聖山●霊鷲 山へ。頂上へは徒歩で登ります。●ビンピサーラ刑務所、●竹林精 舎を見学。午後、玄奘三蔵も学んだ○世界遺産ナーランダ大学址 (大学跡・博物館)を見学。その後、ブッダガヤへ戻ります。 ■夕食はホテルのレストランにて。 朝食 昼食 夕食 ブッダガヤ: スジャータまたはリージェンシー 泊
5	ブッダガヤ 🚗 ガヤ(16:40発) ✈ デリー(18:10着/20:20発) ✈ 午前、ブッダが悟りを開く前にこの地で瞑想をしていたと伝えられてい る●ダンゲシュワリの丘を見学。ホテルへ戻り昼食。午後、専用バス でガヤへ。航空機でデリーへ。着後、エアインディアで帰国の途へ。 朝食 昼食 機内食 機中泊
6	羽田(07:55着) 午前、羽田空港第3ターミナル着。入国審査、税関検査後、解散。 機内食 ☒ ☒ ＝ご出発空港までスーツケース無料託送サービス＝

3連泊

※日程表記載観光地○太字表記は入場観光 ●太字表記は下車観光。
※航空機の運行スケジュール変更などにより、日程が変わる場合があります。
※場所柄、ホテル客室はシャワーのみとなる場合がございます。予めご了承下さい。
※聖地、寺院観光の際は靴を脱いでいただく場合がございます。予めご了承下さい。

出発日 ~ 帰国日	旅行代金
3月2日(月)発~3月7日(土)帰国	¥358,000
燃油サーチャージの目安額 お一人様¥18,000 基準日 2025年8月	
お一人部屋利用追加代金 ¥36,000	
■ビジネスクラス利用をご希望の方はお問い合わせください。 ■各種割引対象外。(広告費還元旅行割引券はご利用いただけます)	

■仏教の聖地を訪れる
数ある仏教聖地の中でも、ブッダガヤはブッダの生涯と教えに深く触れることができる最も重要な場所です。紀元前5~4世紀ごろ、シャカ族の王子として生まれたブッダ(ゴータマ・シッタールタ)は29歳で出家。様々な苦行を重ねた後、菩提樹の下で瞑想し、過去世の記憶、生死を繰り返す存在の仕組み(輪廻)、苦しみの原因とその滅し方(四諦)を順に悟り、35歳ごろ、「目覚めた者(ブッダ)」となりました。スジャータ村はブッダが悟りを開く直前に重要な転機となった場所で、霊鷲山はブッダの晩年の教えが集まった聖地です。また、ナーランダ大学は玄奘三蔵も学んだと言われています。全ての仏教聖地を網羅しているわけではありませんが、ブッダガヤへ3連泊するリラックスした日程で特に重要な聖地に絞ってご案内します。

旅行条件(お申込前に弊社約款を必ずご確認ください)	
■食事: 朝4回 昼4回 夕4回	■発着地: 羽田
■最少催行人員: 8名	■添乗員: 羽田より同行します
■利用予定航空会社: エアインディア	
■インド空港税及び出国税(日本円約5,200円相当)を旅行代金に含んでおります。	
◎ご注意(ご旅行代金に含まれないものなど)	
□成田空港使用料: 2,950円	□任意海外旅行傷害保険
□燃油サーチャージ(金額は変動することがございます)	
□本邦内の交通費及び宿泊代	□国際観光旅客税: 1,000円
□査証代: 26アメリカドル	□査証取得手数料: 6,600円
◎訪問国: インド ●写真1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3ヵ月以内に撮影されたもの。)	
●旅券有効残存期間入国時に6ヶ月以上と、残頁2頁以上必要。	